



【十一面観音像】
(県重宝)

僧侶円空によって1665～68年頃に製作されたとされる総高約182cmの木彫りの立像で、田舎館地区の胸肩神社境内に保管されています。円空仏と呼ばれるこうした像は県内に17体あり、田舎館村の円空仏は中でも最も早い時期の作品とみられています。

また、円空仏は圧倒的に坐像の方が多くとされており、立像は県内に5体しかありません。



田舎館村の歴史探訪

田舎館村の歴史のナゾをヒモトク!

近年「田んぼアート」の村として全国的に有名になった田舎館村ですが、他にも垂柳遺跡をはじめとして歴史を伝える様々な文化財が残されています。ここではそのいくつかをご紹介します。

【田舎館城跡、サイカチ大樹】
(村文化財)

田舎館城は田舎館地区がある平野微高地につくられた平城で、本郭・外郭・新館・本郭東側の郭の4郭から成りました。田舎館城最後の城主は田舎館千徳氏5代掃部政武で、1585年の政武と津軽為信との壮絶な戦いや、1601年の政武夫人お市の方の自刃など多くの歴史が残る地です。

また、城跡内には、樹齢400年以上といわれるサイカチ大樹が植えられており、一説には津軽為信との戦いで戦死した300余名を埋葬したときの供養樹であるといわれています。



【垂柳遺跡】(国史跡)

田舎館村でもっとも有名な遺跡で、昭和56～58年にかけて国道102号線バイパス道路の整備のため行われた調査で発見された弥生時代の水田跡は、弥生時代の稲作農耕が北東北まで及んでいたことを証明する貴重な発見となりました。

また、垂柳遺跡で出土された土器や炭化米など十数点は県の重宝に指定されており、田舎館村埋蔵文化財センターに展示されています。



垂柳遺跡で発見された水田跡



県重宝指定の垂柳遺跡出土品

【田舎館村埋蔵文化財センター・田舎館村博物館】

垂柳遺跡で出土した遺物の他、高樋(3)遺跡で発見された弥生時代の水田跡をそのまま展示しています。

- 開館時間／午前10時～午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日／毎週月曜日(ただし、祝日と重なる場合はその翌日) 年末年始(12月29日～1月3日)
- TEL／0172-43-8555
- 住所／〒038-1111 青森県南津軽郡田舎館村大字高樋字大曲63



高樋(3)遺跡の水田跡

		一般	高・中学生	小学生
1名につき	個人	300円	200円	100円
	団体(15名以上)	200円	100円	50円